

殺菌剤

トップジン® Mゾル

チオファネートメチル…………… 40.0%

種類名／チオファネートメチル水和剤
 農林水産省登録／第14228号(日本曹達登録)
 毒性／普通物*
 有効年限／4年
 包装／5ℓ×4

特 長

- 有効成分であるチオファネートメチルは、広範囲の作物病害の予防と治療に優れた効果を発揮します。
- 液体タイプの剤型なので、粉立ちがなく薬剤の調合が簡単です。
- ヘリコプターや無人航空機散布の登録を有し、散布作業の省力化がはかれます。

適用病害と使用法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用病害名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
稲	いもち病	1000倍	60～150ℓ	収穫14日前 まで	本剤 3回 チオファネートメチル剤 3回 【種子への処理は1回】	散布
		原液	0.2ℓ			
		4倍	0.8ℓ			無人航空機 散布
	変色米 (エビコッカム菌)	4～8倍				
		墨黒穂病 紋枯病				
墨黒穂病 紋枯病 稲こうじ病	1000倍	60～150ℓ	散布			
小 麦	雪腐大粒菌核病			1000～ 1500倍	根雪前	本剤 3回 【出穂期以降は2回】 チオファネートメチル剤 4回 【種子への処理は1回、 散布及び無人航空機 散布は合計3回、出穂 期以降は2回】
	赤かび病	8倍	収穫14日前 まで			
		雪腐大粒菌核病	10倍		根雪前	
麦 類 (小麦を除く)	赤かび病	1500倍	60～150ℓ	収穫14日前 まで	本剤 3回 【出穂期以降は1回】 チオファネートメチル剤 3回 【種子への処理は1回、 出穂期以降は1回】	散布
		8倍	0.8ℓ	収穫21日前 まで		
	雪腐大粒菌核病	10倍	根雪前			
だ い す	紫斑病	5～8倍	0.8～1.6ℓ	収穫14日前 まで	本剤 4回 チオファネートメチル剤 4回 【種子への処理は1回】	空中散布
		5倍	0.8ℓ			
		20～30倍	3ℓ			
き ゅ う り	菌核病 炭そ病	1000倍	100～300ℓ	収穫前日まで	本剤 5回 チオファネートメチル剤 6回 【種子への処理は1回、 は種後は5回】	散布
ト マ ト	葉かび病 菌核病					

(つづく)

作物名	通用病害名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
なす	菌核病	1000倍	100～300ℓ	収穫前日まで	本剤 5回 チオファネートメチル剤 6回 〔種子への処理は1回、 は種後は5回〕	散布
ブロッコリー		8倍	0.8～1.6ℓ	収穫14日前 まで	本剤 2回 チオファネートメチル剤 3回 〔種子への処理は1回、 は種後は2回〕	無人航空機 散布
たまねぎ	灰色腐敗病	600～ 1000倍	100～300ℓ	収穫前日まで	本剤 5回 チオファネートメチル剤 7回 〔種子への処理は1回、 苗根部浸漬は1回、無 人航空機散布は3回、 散布は5回〕	散布
		5倍	0.8ℓ		本剤 3回 チオファネートメチル剤 7回 〔種子への処理は1回、 苗根部浸漬は1回、無 人航空機散布は3回、 散布は5回〕	無人航空機 散布
		16倍	2.4ℓ			
やまのいも	葉波病 炭そ病	5倍	3ℓ	収穫7日前 まで	本剤 5回 チオファネートメチル剤 5回	空中散布
れんこん	褐斑病	20倍		収穫75日前 まで	本剤 3回 チオファネートメチル剤 3回	
みかん	そうか病	700～ 1000倍	200～700ℓ	4～6月	本剤 5回 チオファネートメチル剤 8回 〔塗布は3回、散布、空 中散布及び無人航空 機散布は合計5回〕	散布
		1000～ 2000倍				10ℓ
	貯蔵病害 (青かび病) (緑かび病) (軸腐病)	20～30倍	5ℓ		無人航空機 散布	
		10～15倍	5ℓ			
かんきつ (みかんを除く)		30倍	10ℓ	収穫前日まで	本剤 5回 チオファネートメチル剤 8回 〔塗布は3回、散布及び 無人航空機散布は合 計5回〕	無人航空機 散布
		15倍	5ℓ			
		2000倍				
もも	灰星病	700倍			本剤 6回 チオファネートメチル剤 10回 〔塗布は3回、休眠期 の散布は1回、生育 期の散布は6回〕	
おうとう	せん孔病	1500倍	200～700ℓ	収穫14日前 まで	本剤 3回 チオファネートメチル剤 6回 〔塗布は3回、散布は3回〕	散布
ぶどう	黒とう病	1000倍		収穫45日前 まで	本剤 1回 チオファネートメチル剤 5回 〔塗布は3回、休眠期 の散布は1回、生育 期の散布は1回〕	散布
キウイフルーツ	果実軟腐病			収穫前日まで	本剤 5回 チオファネートメチル剤 8回 〔塗布は3回、散布は5回〕	
ストック	菌核病			100～300ℓ	発病初期	

作物名	適用病害名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
ばら	黒星病	1000倍	100～300 ℓ	発病初期	本剤 チオファネートメチル剤 5回 5回	散布
ブリンラ	灰色かび病					
シンビジウム	炭そ病					
ゆり	葉枯病		-			
きく	黒斑病 褐斑病					
りんどう	花腐菌核病	100～700 ℓ	発病初期			

使用にあたって

■使用上の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 必要量を購入し、できるだけ残すことなく使いきってください。
- 本剤の使用に際しては容器をよく振ってから所定量を取り出し水に入れてよく攪拌して散布液を調製してください。
- 本剤は長時間放置すると沈殿物を生じることがありますが、振れば容易に元の状態に戻るのに使用に差支えありませんが、必ず元の状態に戻してから使用してください。
- 本剤の連続使用によって薬剤耐性菌が出現し効果の劣るおそれがあるので過度の連用をさけ、なるべく作用性の異なる他の薬剤と組み合わせて輪番で使用してください。
- 本剤を大型散布機（ヘリコプターなど）で使用する場合は各散布機種種の散布基準に従って実施してください。
- 空中散布および無人航空機散布に関する注意については「製品情報と注意事項」の見方、「空中散布、無人航空機（無人ヘリコプター等）散布・滴下に関する注意」をご参照ください。
- 本剤を空中散布および無人航空機散布に使用する場合は、散布薬液の飛散によって自動車の塗装等に被害を生じるおそれがあるので、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
- ぶどうに使用する場合、幼果期以降の散布は果粉の溶脱や果実の汚れを生じるおそれがあるので注意してください。
- だいたずの紫斑病に対しては、落花後～若莢期に2～3回散布してください。
- 本剤を使用した場合には、ペノミルを含む剤を使用しないでください。ただし、種子への処理、種籾への処理および塗布処理は除きます。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合には、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■混用・薬害

- ボルドー液との混用はさけてください。

■毒

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。

■安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

■貯蔵上の注意

- 密栓し、直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に保管してください。